

Ⅱ 花き(切花)情報

9月(中旬)までの経過

8月下旬の入荷量はキク等で生育が前進し前年を大幅に上回ったが、相場は平年をやや下回ったが、9月上旬は低温で天候が優れなかったため、入荷量・相場ともに前年を大幅に下回った。9月中旬も曇りや雨の日が多かったものの前年並みの入荷量であり、彼岸需要もあり、相場は前年をやや上回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経 過
入荷量	8月下旬はキク等で生育が前進し前年を大幅に上回ったが、9月上旬は曇天、降雨が多く、低温で天候が優れなかったため、前年を大幅に下回った。9月中旬は前年並みの入荷量であった。
相場	8月下旬は平年をやや下回り、9月上旬も天候が悪く、弱保合となり、前年を大幅に下回った。9月中旬は彼岸需要があり、やや上回った。
動向	9月に入ってから秋雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、加えて中旬は台風第25号の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。物価上昇による買い控えに加え、これらの長雨や天候不順が店頭販売に影響している。そのような中でワレモコウなど深みのある秋色の花やお月見に合わせたススキ、パンパスグラス等秋商材に売り場が切り替わっている。

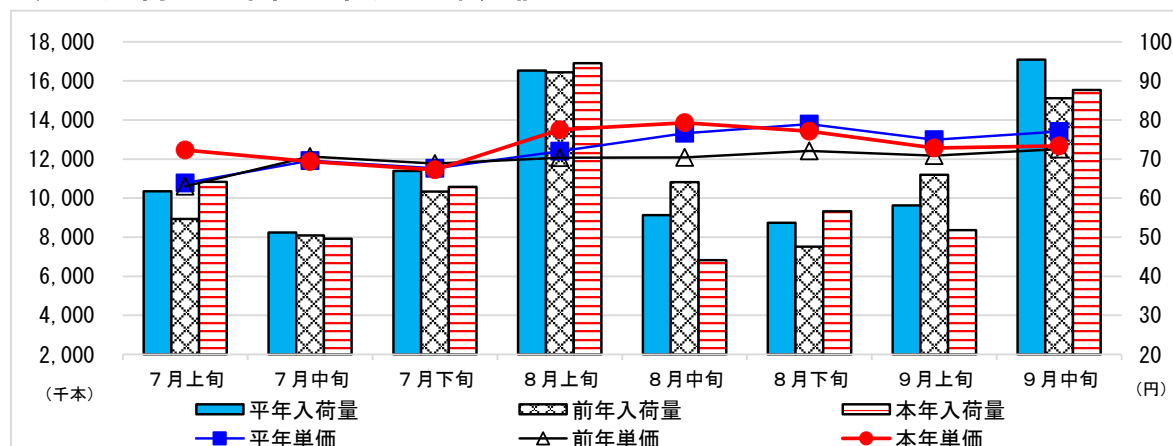
品目別経過

品目	経 過
SPキク	(株)大田花き 需要期は、東日本の産地で生育が前進、色物を中心に14日販売分がピークとなった後、入荷量が急減した。輸入品は便の遅延などがあったものの、概ね潤沢な入荷となった。
コギク	(株)大田花き 冷涼な気候だったため、一部産地では生育が前進し、前半に出荷数量がまとまった。後半は雨天の影響で作業が遅れ、下位等級の出荷が多くなった。販売面では彼岸需要があり、引き合いの強い取引となった。
ケイトウ	(株)フラワーオークションジャパン 昨年より気温が低めに推移したことから虫害は少なかったが、日照不足の影響により上位等級の発生率は低下した。相場は安定して推移した。

10月の見通し

品目	見 通 し
カーネーション	(株)フラワーオークションジャパン 引き続き北海道および長野県産を中心とした入荷となる見込みである。高冷地産は数量が減少する一方、暖地産の丈の短い等級の入荷が徐々に始まる見込み。
ガーベラ	(株)大田花き 天候の回復に伴い数量は徐々に回復するものの、安定するのは中旬以降となる見込み。

9月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均